教育に関する事務の管理及び執行の状況の
点検及び評価の結果に関する報告書

二戸市教育委員会

平成28年第8回二戸市教育委員会定例会（平成28年8月19日議決）

目 次

◆ I 点検・評価制度の概要	1 P
・審議の経過	2 P
◆ II 平成 27 年度二戸市教育委員会の運営状況（活動内容）	
・二戸市教育委員会の概要	3 P
・教育委員会の主な活動内容、事業費	4 P
・平成 27 年度二戸市教育委員会議一覧	5 P～ 6 P
・内部評価	7 P
◆ III 二戸市教育振興基本計画に基づく平成 27 年度「基本方針（目指す姿）を実現するための施策の方向」の取組実績（5 分野 28 項目）	8 P
・点検・評価分析シート	9 P～ 37 P

I 点検・評価制度の概要

地方教育行政の組織及び運営に関する法律には、教育委員会はその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することが規定されています。

今年度、二戸市教育委員会では平成 23 年度に策定した二戸市教育振興基本計画に掲げられた「基本方針（目指す姿）を実現するための施策の方向」に掲載されている主要事業の施策区分別に平成 27 年度における取組状況について、点検及び評価を行いました。評価はそれぞれが分野の目的に沿った取り組みができていのかどうかを担当課による総括（一次評価）を行うとともに、学識経験を有する者を活用した点検・評価（二次評価）を行います。

なお、これら点検・評価の具体的な項目や議会への報告及び公表の方法については、特に国が基準を定めることは行わず、各教育委員会が実情を踏まえて決定することとされています。

【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 27 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務を含む）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

1 点検・評価の対象年度

平成 27 年度

2 点検・評価の内容

- (1) 平成 27 年度二戸市教育委員会の運営状況（活動内容）
- (2) 二戸市教育振興基本計画に基づく平成 27 年度「基本方針（目指す姿）を実現するための施策の方向」の取組実績（5 分野 28 項目）

3 点検・評価の方法

教育委員会の運営状況及び平成 27 年度「基本方針（目指す姿）を実現するための施策の方向」の取組実績を取りまとめ、担当課による総括（一次評価）を行いました。

【二戸市教育行政に関する点検及び評価等検証委員】

（敬称略、順不同）

氏 名	委 員 の 区 分
稲 葉 慶 孝	教育全般に学識経験を有する者
斎 藤 正 衛	二戸市立石切所小学校評議員
澤 典 雄	二戸市社会教育委員
堀 内 正 人	二戸市文化財調査委員

■ 審議の経過（予定）

1 平成 28 年 6 月 10 日（金）～平成 28 年 6 月 27 日（月）

教育委員会事務局において、二戸市教育振興基本計画に掲げられた平成 27 年度「基本方針（目指す姿）を実現するための施策の方向」に対する内部評価（一次評価）を行いました。

2 平成 28 年 7 月 12 日（火）

第 1 回二戸市教育行政に関する点検及び評価等検証委員会議を開催し、内部評価に関する意見・提言（外部評価・二次評価）を伺いました。

3 平成 28 年 8 月 3 日（水）

第 2 回二戸市教育行政に関する点検及び評価等検証委員会議を開催し、第 1 回二戸市教育行政に関する点検及び評価等検証委員会議における提言等を反映させた内部評価に関する意見・提言（外部評価・二次評価）を伺いました。

4 平成 28 年 8 月 19 日（金）

平成 28 年第 8 回二戸市教育委員会定例会において、「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について」が審議され、議決されました。

II 平成 27 年度二戸市教育委員会の運営状況（活動内容）

■ 二戸市教育委員会の概要

1 教育委員会の目的

教育の機会均等、教育水準の維持向上及び地域の実情に応じた教育の振興を図るため、広く地域住民の意向を反映した責任ある教育行政を実現します。

2 教育委員会制度の仕組み

- ・ 教育委員会は首長から独立した機関であり、地域の学校教育、社会教育、文化、スポーツ等に関する事務を担当する機関として、全ての都道府県及び市町村に設置されています。
- ・ 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の平成 27 年 4 月 1 日改正に伴い、市長と教育委員会が教育施策の方向性を共有し、一致して執行に当たるための協議・調整の場として、総合教育会議を置くこととなりました。

※平成 27 年度末現在、二戸市教育委員会は法改正の経過措置適用中で、委員の選任等については旧制度を継続しています。

- ・ 二戸市教育委員会は、5 人の委員で構成しています。委員は、人格が高潔で教育、学術及び文化に関し、識見を有する人のうちから市長が市議会の同意を得て任命します。
- ・ 委員長は、委員の中から選挙され、教育委員会の会議を主宰し、委員会を代表します。
- ・ 教育長は、委員の中から教育委員会が任命し、教育委員会の指揮監督の下に教育委員会の権限に属する全ての事務をつかさどります。また、これらの事務を処理するために、教育委員会に事務局が置かれています。

二戸市教育委員会委員（平成 28 年 3 月 31 日現在）

職 名	氏 名	職 歴 等
委員長	清 川 泰	元 小 学 校 長
委員（委員長職務代理者）	佐々木 春彦	自 営 業
委員（委員長職務代理者）	菅 原 ゆかり	会 社 役 員
委員	玉 川 貴 広	会 社 員
委員（教育長）	鳩 岡 矩 雄	元 高 等 学 校 長

■ 教育委員会の主な活動内容、事業費

1 教育委員会議

(1) 開催回数 (平成 27 年度実績)

・定例会	12 回	
・臨時会	2 回	
・協議会	3 回	総計 17 回

(2) 議決の状況 (付議事項数 計 44 件)

・教育委員会規則・規程等の制定・改廃	13 件
・教育機関の長・その他機関等の長の人事	4 件
・協議会・審議会委員等の任命・委嘱	13 件
・市議会定例会提出議案への同意	3 件
・選挙	2 件
・教科書採択	2 件
・その他	3 件

(3) 傍聴者数

平成 27 年度実績	0 人
------------	-----

2 総合教育会議

開催回数	3 回
------	-----

3 教育委員の活動 (平成 27 年度実績)

学校訪問、会議・行事等への出席状況 (※委員 1 人につき 1 回)

・教育委員会が主催する行事、式典、会議等への出席	346 回
・教育委員会以外の団体等が主催する行事、式典、会議等への出席	205 回

4 事業費 (平成 27 年度実績)

決算額	2,805 千円
・報酬	2,496 千円
・旅費	170 千円
・交際費	113 千円
・負担金	26 千円

■ 平成27年度二戸市教育委員会議一覧

	開催日	開催場所	日 程 内 容
第4回 定例会	27.4.24 (金)	1階会議室	日程第 1 会期の決定 日程第 2 一般報告 日程第 3 議案第 1号 二戸市社会教育委員の人事について 日程第 4 議案第 2号 二戸市立公民館運営審議会委員の人事について 日程第 5 議案第 3号 二戸市立図書館協議会委員の人事について 日程第 6 議案第 4号 二戸市スポーツ推進審議会委員の人事について 日程第 7 議案第 5号 二戸市浄法寺文化交流センター運営委員の人事について 日程第 8 議案第 6号 二戸市文化財調査委員の人事について 日程第 9 議案第 7号 二戸市立歴史民俗資料館運営委員の人事について 日程第 10 報告第 1号 二戸市教育委員会の後援・共催について
第5回 定例会	27.5.28 (木)	1階会議室	日程第 1 会期の決定 日程第 2 一般報告 日程第 3 議案第 1号 市議会定例会提出議案への同意について (損害賠償の額の決定及び和解について) 日程第 4 議案第 2号 二戸市社会教育委員の人事について 日程第 5 議案第 3号 二戸市立公民館運営審議会委員の人事について 日程第 6 議案第 4号 二戸市立図書館協議会委員の人事について 日程第 7 議案第 5号 二戸市学校給食センター運営委員の人事について 日程第 8 報告第 1号 二戸市教育委員会の後援・共催について
第6回 定例会	27.6.30 (火)	2階会議室	日程第 1 会期の決定 日程第 2 一般報告 日程第 3 報告第 1号 二戸市教育委員会の後援・共催について
第7回 定例会	27.7.29 (水)	2階会議室	日程第 1 会期の決定 日程第 2 一般報告 日程第 3 議案第 1号 二戸市教育振興基本計画策定委員会委員の任命について 日程第 4 議案第 2号 平成28年度使用小学校教科用図書の採択について 日程第 5 議案第 3号 平成28年度使用中学校教科用図書の採択について 日程第 6 報告第 1号 二戸市教育委員会の後援・共催について
第8回 定例会	27.8.21 (金)	2階会議室	日程第 1 会期の決定 日程第 2 一般報告 日程第 3 議案第 1号 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価について 日程第 4 報告第 1号 二戸市教育委員会の後援・共催について
第9回 定例会	27.9.28 (月)	2階会議室	日程第 1 会期の決定 日程第 2 一般報告 日程第 3 議案第 1号 二戸市芸術文化振興懇話会委員の人事について 日程第 4 報告第 1号 二戸市教育委員会の後援・共催について
第2回 協議会	27.9.28 (月)	2階会議室	協議事項 1 全国学力・学習状況調査(全国学力テスト)について 2 学校生活アンケート結果について 3 九戸城跡の整備について
第10回 定例会	27.10.23 (金)	2階会議室	日程第 1 会期の決定 日程第 2 一般報告 日程第 3 議案第 1号 文化財の指定解除について 日程第 4 報告第 1号 二戸市教育委員会の後援・共催について
第11回 定例会	27.11.30 (月)	2階会議室	日程第 1 会期の決定 日程第 2 一般報告 日程第 3 議案第 1号 二戸市教育委員会表彰の受賞者について 日程第 4 議案第 2号 市議会定例会提出議案への同意について (指定管理者の選定について(市民文化会館)) 日程第 5 議案第 3号 市議会定例会提出議案への同意について (指定管理者の選定について(海上ふるさと交流館)) 日程第 6 報告第 1号 二戸市教育委員会の後援・共催について

	開催日	開催場所	日程内容
第12回 定例会	27.12.22 (火)	2階会議室	日程第 1 会期の決定 日程第 2 一般報告 日程第 3 報告第 1号 二戸市教育委員会の後援・共催について
第1回 定例会	28.1.26 (火)	2階会議室	日程第 1 会期の決定 日程第 2 一般報告 日程第 3 報告第 1号 二戸市教育委員会の後援・共催について
第1回 協議会	28.1.26 (火)	2階会議室	協議事項 1 平成28年度教育施政方針要旨について 協議事項 2 その他
第2回 定例会	28.2.18 (木)	2階会議室	日程第 1 会期の決定 日程第 2 一般報告 日程第 3 議案第 1号 二戸市立小中学校管理運営規則の一部を改正する規則 日程第 4 議案第 2号 二戸市教育委員会教育長の権限に属する事務の一部を校長に委任する規程の全部を改正する訓令 日程第 5 議案第 3号 二戸市教育委員会公印規程の一部を改正する訓令 日程第 6 報告第 1号 二戸市教育委員会の後援・共催について
第1回 臨時会	28.2.22 (月)	2階会議室	日程第 1 会期の決定 日程第 2 選挙第 1号 二戸市教育委員会委員長の選挙について 日程第 3 選挙第 2号 二戸市教育委員会委員長職務代理者の指定について 日程第 4 議席の決定
第2回 協議会	28.2.22 (月)	2階会議室	協議事項 1 平成28年度教育施政方針要旨について
第2回 臨時会	28.2.26 (金)	2階会議室	日程第 1 会期の決定 日程第 2 議案第 1号 教育機関の長の人事について 日程第 3 議案第 2号 平成28年度教育施政方針要旨について
第3回 定例会	28.3.25 (金)	2階会議室	日程第 1 会期の決定 日程第 2 一般報告 日程第 3 議案第 1号 二戸市教育委員会組織規則の一部を改正する規則 日程第 4 議案第 2号 二戸市教育委員会処務規程の一部を改正する訓令 日程第 5 議案第 3号 二戸市教育委員会公印規程の一部を改正する訓令 日程第 6 議案第 4号 二戸市教育委員会服務規程の一部を改正する訓令 日程第 7 議案第 5号 二戸市教育委員会被服貸与規程の一部を改正する訓令 日程第 8 議案第 6号 二戸市教育委員会安全衛生管理規程の一部を改正する訓令 日程第 9 議案第 7号 二戸市立小中学校に就学すべき者の学校の指定に関する規則の一部を改正する規則 日程第 10 議案第 8号 二戸市区域外就学に関する規程の一部を改正する告示 日程第 11 議案第 9号 二戸市立小中学校児童生徒通学費補助金交付規程の一部を改正する告示 日程第 12 議案第 10号 二戸市浄法寺文化交流センター運営委員会規則の一部を改正する規則 日程第 13 議案第 11号 二戸市シビックセンター管理規則 日程第 14 議案第 12号 二戸市シビックセンター運営協議会規則 日程第 15 議案第 13号 福田繁雄デザイン館収蔵品評価委員設置要綱 日程第 16 議案第 14号 課長等の人事について 日程第 17 議案第 15号 教育機関の長の人事について 日程第 18 議案第 16号 その他の教育機関の長の人事について 日程第 19 報告第 1号 二戸市教育委員会の後援・共催について

定例会開催回数 12回

臨時会開催回数 2回

協議会開催回数 3回

■ 内部評価（教育委員活動総括）

◆ 平成 27 年度における教育委員会の会議は、定例会 12 回、臨時会 2 回、協議会 3 回を開催した。今年度は、4 年間にわたり教育振興のためご尽力くださった平栗壽隆委員が退任し、新任の玉川貴広委員が就任した。

◆ 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の平成 27 年 4 月 1 日改正に伴い、総合教育会議を置くこととなり、平成 27 年度は 3 回開催した。

内容は、「総合教育会議の運営について」「二戸市教育大綱について」「当初予算について」「人づくりについて」などで、活発な協議と意見交換が行われた。

総合教育会議は市長が招集するもので、事務局は原則として市長部局が担当することとされているが、地方自治法の規定に基づき補助執行として、教育委員会事務局教育企画課が担当している。

◆ 平成 27 年度における教育委員会の活動は、定例行事である市内小中学校の入学式・卒業式や運動会・体育祭、学習発表会等へ出席し、児童生徒の活動を激励したほか、保護者・地域住民との交流の中から、情報収集に努めた。

また、市民に学校を公開する日等においては積極的に小中学校を訪問し、日常の授業を参観しながら学校現場の実態把握に努め、教職員と意見交換を行い、教育委員会において情報共有と課題解決に向けた発言、提言等を行った。

また、教育振興運動関係行事への参加や、各種会議等への参加の際は、教育委員として積極的に意見等を述べている。

◆ 教育委員は、教育行政の諸課題について深い理解が求められることから、二戸地区教育推進協議会研修会や岩手県市町村教育委員協議会委員研修会、東北六縣市町村教育委員会連合会教育委員・教育長研修会に参加し、教育課題の把握及び分析、委員としての資質向上に努めた。

◆ 教育委員会の公開については、ホームページ等により定期的に告知しており、ホームページは市民が分かりやすい内容構成に努めている。さらに広く教育行政の周知に努め、市民の理解を求めていくことが大切である。また、平成 27 年度は教育委員会の傍聴が無かったため、さらなる広報・周知に努める。

Ⅲ 二戸市教育振興基本計画に基づく平成27年度「基本方針（目指す姿）を

実現するための施策の方向」の取組実績

・点検・評価項目

点検・評価項目は、二戸市教育振興基本計画に掲げられた「基本方針（目指す姿）を実現するための施策の方向」について、平成27年度において予算措置がなされたものを基本としています。

1－教育委員会の充実 ～市民から信頼される教育行政推進のために～	【前掲1 P～4 P】
平成27年度二戸市教育委員会議一覧	【前掲5 P～6 P】
内部評価及び点検・評価項目	【前掲7 P～8 P】
2－生涯学習の充実 ～市民が生涯にわたっていきいきとくらすために～	
(1) 広がりや深まりのある生涯学習の推進	
①多様なメディアを活用した生涯学習情報の発信等	【生涯学習課】……………10 P
3－学校教育の充実 ～子供たちが自分の力でこれからの時代を切り開くために～	
(1) 自立して生きる力を育む教育の推進	
①学力向上対策の推進	【教育企画課】……………11 P
②教育相談・適応指導の充実	【教育企画課】……………12 P
③国際理解教育の推進	【教育企画課】……………13 P
(2) 特別支援教育の推進	
①特別支援教育の充実	【教育企画課】……………14 P
(3) 健康・安全教育の推進	
①学校保健・安全教育の充実	【教育企画課】……………15 P
②学校給食の充実	【学校給食センター】…16 P
③地産地消の推進	【学校給食センター】…17 P
(4) 幼児教育・高等学校教育の充実	
①就学前教育の支援等	【教育企画課】……………18 P
(5) 教育環境の整備・充実	
①就学支援の充実等	【教育企画課】……………19 P
②福岡中学校建設事業等	【教育企画課】……………20 P
4－社会教育の充実 ～社会全体で教育力向上のために～	
(1) 教育振興運動を基盤とした教育力の向上	
①教育振興運動の推進等	【生涯学習課】……………21 P
②公民館各種講座の実施	【市立公民館】……………22 P
③図書サービスの充実	【図書館】……………23 P
(2) 社会教育施設の環境整備	
①公民館施設の計画的改修	【市立公民館】……………24 P
②図書館の整備・充実	【図書館】……………25 P
5－芸術文化の振興 ～潤いのある豊かな生活のために～	
(1) 芸術文化の振興	
①郷土芸能保存団体への活動支援等	【文化財課】……………26 P
②教育文化団体への活動支援等	【生涯学習課・公民館】27 P
(2) 文化財の保護・保存と活用	
①天台寺文化財修繕事業の促進	【文化財課】……………28 P
②史跡九戸城跡の保護と活用	【文化財課】……………29 P
③市内遺跡発掘調査事業等	【文化財課】……………30 P
④歴史文化交流施設整備事業	【文化財課】……………31 P
(3) 郷土への誇りと愛着を深める地域文化の継承	
①市史編さん事業の推進	【生涯学習課】……………32 P
②歴史民俗資料の収集と研究の推進	【文化財課】……………33 P
6－スポーツ・レクリエーションの振興～スポーツを通じた健康づくりを進めるために～	
(1) みんなが楽しむスポーツの振興	
①スポーツ指導者の育成・健康づくりの支援等	【生涯学習課】……………34 P
②スポーツ施設の整備・充実	【生涯学習課】……………35 P
(2) 夢と感動の競技スポーツの推進	
①各種スポーツ大会・教室の開催	【生涯学習課】……………36 P
②各種スポーツ大会・教室の開催	【生涯学習課】……………37 P

以上、9ページから28項目

二戸市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況
点検・評価分析シート

主要事業	多様なメディアを活用した生涯学習情報の発信等		担当課等	生涯学習課					
事業名称	2 生涯学習の充実								
項目名称	(1) 広がりや深まりのある生涯学習の推進								
① 事務事業概要	実施根拠法令	社会教育法第5条（市町村教育委員会の事務）							
	実施方法	■直接実施 □業務委託 □補助金交付 □その他（ ）							
	事業費内訳	■国庫補助 □県単 ■一般財源 ■その他（地域づくり人づくり基金）							
	対象（～に対して）	市民 放送大学生 保護者及び地域住民 1歳6カ月健診対象親子							
	目的（目指すべき姿）	あらゆる世代の市民が「いつでも・どこでも・だれでも」学習できる、多種多様な市民ニーズに対応した環境整備を進める。また、生涯学習に市民一人ひとりが意欲と生きがいをもって取り組めるよう、主体的に参加できる学習機会の充実を目指す。							
	事業内容 （平成27年度）	1 多様なメディアを活用した生涯学習情報の発信（広報誌「こしゃーる」欄やHP等を利用した情報提供） 2 市民の「学び直し」など生涯学習活動の支援 ・放送大学岩手学習センター二戸校の管理と活用 ・成人教育講座の開催（高齢者のための講演会、浄法寺地区教育連絡会、パソコン教室） ・学校開放講座の開催支援 ・1歳6カ月健診時の読み聞かせ講座							
② 事業実績・効果	区 分		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	事業の実績	1	生涯学習情報掲載誌の発行回数	回	12	12	12	12	12
		2	二戸校配架科目数（延べ）	科目	120	134	156	173	190
		3	成人教育講座開催数	回	3	3	4	3	5
		4	学校開放講座開催数	回	12	12	17	15	14
		5	読み聞かせ講座開催数	回	10	10	10	10	10
	事業効果	1	二戸校利用者数	人	54	56	172	54	80
		2	成人教育参加者数（延べ）	人	229	306	322	360	383
		3	学校開放講座参加者数（延べ）	人	230	705	1,155	1,830	1,032
		4	読み聞かせ講座参加者数	人	394	337	349	422	327
③ 事業費	区 分		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	決 算 額		千円	574	746	671	569	633	
④ 事業評価	総括（成果と課題）	【多様なメディアを活用した生涯学習情報の発信】 1. 市広報誌を利用して毎月、定期的に生涯学習に関する情報を提供することで、効率的に市民への情報提供ができた。 2. ホームページについては、そのつど新情報の更新を行った。ホームページは、適時に発信でき、利用者が気軽に閲覧できる情報ツールであり効果的な活用に一層努める必要がある。							
		【市民の「学び直し」など生涯学習活動の支援】 1. 27年度の放送大学二戸校の利用者数は、26年度と比較すると増加したが、一般利用者は少ないことから、身近な生涯学習の拠点として有効に活用されるよう市民への更なる周知とより利用しやすい環境の整備、内容の充実に努めたい。 2. 浄法寺地区教育連絡会については、合唱等の発表と連動した講演で音楽をテーマに一体的な内容となった。また、福岡高校浄法寺校のステージ披露も行われ、地域の保育園の園児から高校生まで幅広い年代、親がつながりを深めた。 3. 27年度のパソコン教室は初心者向け持ち込み形式として開催したが、申し込み数が伸び悩んだことから、ターゲットに適した周知方法を工夫する必要がある。 4. 学校開放講座については、家庭教育だけでなく、復興教育やキャリア教育、郷土料理など分野が幅広く、対象者も広がることで学習機会のきっかけとして活用が図られたことがうかがえる。 5. 読み聞かせ講座では、健診時に読み聞かせを行っているが、健診が中心であるため、集中して読み聞かせできないという課題がある。28年度は健診担当者と調整のうえ全体の流れを改善しブックスタート等と統一して実施している。							

二戸市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況

点検・評価分析シート

主要事業	学力向上対策の推進		担当課等	教育企画課					
事業名称	3 学校教育の充実								
項目名称	(1) 自立して生きる力を育む教育の推進－①								
① 事務事業概要	実施根拠法令	教育基本法 学校教育法							
	実施方法	■直接実施 □業務委託 □補助金交付 □その他 ()							
	事業費内訳	□国庫補助 □県単 □一般財源 ■その他 (地域づくり人づくり基金)							
	対象 (～に対して)	児童 生徒 教職員							
	目的 (目指すべき姿)	市の教育課題である「学力向上」について、教育委員会・学校が一体となって取り組み、学力向上に関する各事業を推進することにより、児童生徒に基礎的・基本的な学習内容の習得と考える力が身につくよう授業改善を図ることを目的とする。							
	事業内容 (平成27年度)	学力と創造性を伸ばす教育の推進 (学力向上対策の推進)							
② 事業実績・効果	区分		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	事業の実績	1	サテライト学習会実施日数	日		5	6	7	(小) 3 (中) 7
		2	サテライト学習会参加者数	人		61	63	55	(小) 31 (中) 61
		3	授業力向上研修会実施回数	回		3	2	2	2
		4	授業力向上研修会参加者数(平均)	人		24	19	26	23
	事業効果	1	学習定着度状況調査算数・数学(県平均100)	%	(小)102 (中)99	(小)101 (中)103	(小)106 (中)105	(小)107 (中)101	(小)107 (中)101
③ 事業費	区分		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	決算額		千円	2,120	1,867	1,682	2,207	3,112	
④ 事業評価	総括 (成果と課題)	<p>1. 平成27年度岩手県学習定着度状況調査における正答率の県を100とした二戸市の指数(実施教科の合計)は小学校102、中学校101と、いずれも県を上回り、市教育振興基本計画の目標値(小・中学校100)を達成した。平成22年度と同調査では算数・数学ともに県平均を下回っていたため、最重点教科に位置付けて取り組みを続けてきた。その結果、事業効果1の数値が示す通り、平成24年度に県平均を上回って以来、小・中学校ともに4年間連続して県平均を上回る状況が続いている。算数・数学以外の教科についても、国語は平成27年度全国学力・学習状況調査において、小・中学校ともに全国の平均正答率を上回った。平成27年度岩手県学習定着度状況調査において、県比較で社会科は小学校99、中学校108、理科は小学校103、中学校98であった。各教科とも「県平均以上」もしくは「ほぼ県平均と同じ」状況となっている。</p> <p>2. 東京学芸大学との連携事業により、同大附属学校への視察研修、同大附属学校教員を招いての授業力向上研修会等を実施し、教員研修の充実を進めることができた。授業改善による学力向上を進める本市にとって、その土台を支える事業となっている。</p> <p>3. 平成27年度は、サテライト学習会の対象を小学生にも拡大し、広く学習の場を提供することができた。</p> <p>4. 基礎的な学習内容の定着には、何度も繰り返し学ぶことが大事であることから、算数・数学の重点指導項目の設定等引き続き取り組む必要がある。また、考える力が身につくよう、各種調査結果の分析と活用を基にした授業改善の一層の推進が求められる。そのためには、二戸授業モデルにもとづく教員の研修を引き続き充実させる必要がある。さらに、予習や復習と家庭学習を連動させた取組やテレビ等の視聴時間や読書など、家庭での過ごし方を考え改善する取組を推進する必要がある。</p>							

二戸市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況

点検・評価分析シート

主要事業	教育相談・適応指導の充実		担当課等	教育企画課					
事業名称	3 学校教育の充実								
項目名称	(1) 自立して生きる力を育む教育の推進-②								
① 事務事業概要	実施根拠法令	教育基本法 学校教育法							
	実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 補助金交付 ☐ その他（ ）							
	事業費内訳	☐ 国庫補助 ☐ 県単 ☒ 一般財源 ☐ その他（ ）							
	対象（～に対して）	児童 生徒 保護者 教職員							
	目的（目指すべき姿）	保護者・児童生徒が抱える学校生活に関する不安や悩みの緩和・解消と問題行動等に対応できる教育相談・支援体制を整備し、子どもたちがお互いに尊重し合い、安心して学習や学校生活を送ることができる環境整備を図る。 学校不適応児童生徒については、不登校の状況を改善できるよう、学校と連携し相談・支援体制の確立に努める。							
事業内容 (平成27年度)	教育相談・適応指導の充実 (学校巡回訪問、いじめ問題対策委員会、学校生活アンケート等)								
② 事業実績・効果	区 分		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	事業の実績	1	相談員学校訪問 (定期)	回	6	5	4	4	4
		2	相談件数	件	48	51	57	51	44
事業効果	1	不登校児童生徒 の出現率	%	(小) 0.13	(小) 0.27	(小) 0.35	(小) 0.29	(小) 0.39	
				(中) 2.17	(中) 2.38	(中) 2.15	(中) 2.39	(中) 2.73	
③ 事業費	区 分		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	決 算 額		千円	4,950	3,877	2,573	2,533	2,559	
④ 事業評価	総括 (成果と課題)	<p>1. 教育相談員の複数配置により、定期的な学校訪問を実施することで、児童生徒の状況についての情報共有の充実がより一層図られるようになった。また、相談業務においても、学校生活に関すること、生活及び行動に関すること、家庭教育に関すること、その他児童生徒の多岐にわたる問題全般について適切な対応を行うことができた。</p> <p>2. 近年の不登校児童生徒出現率を見ると、小学校での出現率は増加傾向、中学校の出現率は概ね横ばいで推移していたが、平成27年度は増加となっている。今後は、新規の児童生徒を出さないためにも初期段階での教育相談・適応指導の充実が求められる。 また、二戸市の不登校児童生徒出現率は、小中学校ともに、岩手県平均（H26年度小学校0.22%、中学校2.23%）よりも高くなっているが、全国平均（H26年度小学校0.39%、中学校2.76%）よりは、低い状況である。</p> <p>3. 市では、「いじめ防止対策推進法」を受け、学校・地域・家庭等の関係者との連携の下、いじめ問題の克服に向けて取り組むため、「二戸市いじめ防止等のための基本的な方針」を策定し、この方針に基づく「いじめ問題対策委員会」を開催することにより、関係機関との協力体制を構築することができた。また、毎年6月に学校生活アンケートを実施し、児童生徒の学校生活実態把握と分析を行い、校長会議で共通確認している。</p> <p>4. 各小中学校においてもいじめ防止等の対策に関する「学校いじめ防止基本方針」を策定し、いじめの未然防止、早期発見等に取り組んでいる。</p>							

二戸市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況
点検・評価分析シート

主要事業	国際理解教育の推進		担当課等	教育企画課					
事業名称	3 学校教育の充実								
項目名称	(1) 自立して生きる力を育む教育の推進-③								
① 事務事業概要	実施根拠法令	教育基本法 学校教育法							
	実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☒ 補助金交付 ☐ その他()							
	事業費内訳	☐ 国庫補助 ☐ 県単 ☐ 一般財源 ☒ その他(地域づくり人づくり基金)							
	対象(～に対して)	児童 生徒							
	目的(目指すべき姿)	二戸市中中学生海外派遣研修協議会は、二戸市内の中中学生による海外派遣研修に関わる事業運営等を行うことを目的とする。 異国の文化を学び触れ合うことにより、国際感覚を有する次代を担う人材を育成する。							
	事業内容 (平成27年度)	1 二戸市中中学生異文化交流研修事業 2 二戸市中中学生海外派遣研修事業							
② 事業実績・効果	区 分			単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	事業の実績	1	異文化交流研修事業	人	28	30	28	30	39
		2	海外派遣研修事業	人	10	10	10	10	10
	事業効果	1							
③ 事業費	区 分			単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	決 算 額			千円	4,100	5,200	5,200	6,300	6,300
④ 事業評価	総括(成果と課題)	<p>1. 異文化交流研修事業は、岩手大学グローバル教育センターの協力のもと、平成27年6月20日(土)～21日(日)の2日間、市内の中中学生39名が岩手大学に通う外国人留学生と岩手山青少年交流の家において、寝食を共に活動し、異文化に対する理解を深め相互交流を行った。</p> <p>この研修は、多くの国の留学生と交流することができ、個人負担もないため、希望者は誰でも気軽に参加することができた。</p> <p>2. 海外派遣研修事業は、平成28年1月4日(月)～11日(月)まで市内の中中学生10名が田中館愛橘博士ゆかりの地イギリスのグラスゴーなどを訪問し、ホームステイなど海外での生活や体験、交流を行い、現地での英会話や文化に直接触れることができた。</p> <p>この研修を通じて、他国の文化に触れ視野が大きく広がったほか、博士の業績についても学び、海外で郷土の偉人について理解を深めることができた。</p> <p>3. 各研修に参加した生徒全員の感想やアンケート結果をまとめ、毎年度、研修報告書を作成している。</p> <p>このことにより、情報共有を図り、次年度以降の研修内容に生かすよう努めている。</p>							

二戸市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況
点検・評価分析シート

主要事業	特別支援教育の充実		担当課等	教育企画課					
事業名称	3 学校教育の充実								
項目名称	(2) 特別支援教育の推進								
① 事務事業概要	実施根拠法令	教育基本法 学校教育法							
	実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 補助金交付 ☐ その他（ ）							
	事業費内訳	☐ 国庫補助 ☐ 県単 ☒ 一般財源 ☐ その他（ ）							
	対象（～に対して）	障がいを持つ児童生徒や特別支援を必要とする児童生徒 岩手県教育委員会							
	目的（目指すべき姿）	<p>特別支援教育は、それぞれの児童生徒の状況に応じた学習環境の設定やきめ細やかな対応が必要である。このことから、特別支援教育支援員を配置し、学習・学校生活両面の支援や教員を補助することにより、円滑な学校教育活動の遂行を図る。</p> <p>また、児童生徒が、最も望ましい環境のもとで特別支援教育をうけることができるよう関係機関へ働きかける。</p>							
	事業内容 (平成27年度)	1 特別支援教育の推進 2 特別支援学校高等部の開設決定（平成28年度より）							
② 事業実績・効果	区 分		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	事業の実績	1	特別支援教育支援員の人数	人	13	12	13	13	14
		2	特別支援教育支援員配置校	校	9	7	8	7	9
		3	教育支援委員会	回	3	3	3	3	3
事業効果	1								
③ 事業費	区 分		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	決算額		千円	14,074	13,044	14,014	14,440	15,406	
④ 事業評価	総括（成果と課題）	<p>1. 特別な支援を必要とする児童生徒が増加傾向にある中、安心して学校生活を送ることができるよう14名（前年度より1名増員）の特別支援教育支援員を配置し、きめ細やかな支援や学級全体の円滑な運営に努めた。</p> <p>2. 特別な支援を必要とする就学予定児や在校生を対象に、児童生徒個々にとって望ましい学習環境を検討し整えるため、教育支援委員会を年3回開催した。（対象者201人） また、認定こども園や保育所へは就学予定児の「個別支援ファイル」、小中学校へは児童生徒の「教育支援個別票」の提出を依頼し、教育支援委員会と認定こども園・学校等の情報交換、小中学校の学級編成等に有効活用している。</p> <p>3. 二戸市には、平成20年4月に盛岡みたけ支援学校二戸分教室小学部が石切所小学校に開設、平成25年4月に同中学部が福岡中学校に開設、平成28年4月に同高等部が県立福岡工業高等学校に開設されている。 このことにより、二戸市内で小学校から高校まで特別支援学校で学ぶことができる環境が整ったが、既存の学校の併設校として開設しており、限られたスペースを工夫しながら、学習環境を確保している状況である。 そのため、今後は、一つの学校の中で一貫した教育を受けることができるよう小中高等部からなる独立校の設置を引き続き岩手県へ要望していく。</p>							

二戸市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況
点検・評価分析シート

主要事業	学校保健・安全教育の充実		担当課等	教育企画課					
事業名称	3 学校教育の充実								
項目名称	(3) 健康・安全教育の推進-①								
①事務事業概要	実施根拠法令	学校保健安全法							
	実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 補助金交付 ☐ その他()							
	事業費内訳	☐ 国庫補助 ☐ 県単 ☒ 一般財源 ☐ その他()							
	対象(～に対して)	児童 生徒 保護者 教職員							
	目的(目指すべき姿)	<p>本市では、学校保健会を中心に健康教育に取り組んできたが、生活習慣に起因すると思われる疾病の増加、中でも肥満傾向の児童生徒の割合については、二戸市が全国平均、県平均を大きく上回る状態が続いている。そのため、肥満対策として運動・食事両面での取組が必要であり、今後は、健康診断の結果や体力・運動能力・運動習慣検査の結果を基に、児童生徒が自らの健康について問題意識を持ち、課題解決に向けて取り組む環境づくりを目指す。</p> <p>また、学校で実施する交通安全教室やスクールガード等による地域の見守りを通じて、児童生徒に対する安全教育を推進する。</p>							
事業内容 (平成27年度)	1 学校保健の推進 2 安全教育の推進								
②事業実績・効果	区 分		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	事業の実績	1	生活習慣病予防検診・貧血検査(小4、中1)	回	1	1	1	1	1
		2	肥満低身長児童生徒対応会議	回				2	2
	事業の効果 (肥満度20%以上の児童生徒の割合)	1	二戸市(小4)	%	12.96	17.12	14.35	11.06	16.67
			岩手県	%	12.00	12.25	11.03	11.50	11.83
			全国	%	7.62	8.26	8.26	8.14	7.98
		2	二戸市(中1)	%	13.07	15.13	19.78	18.65	15.81
			岩手県	%	12.50	11.66	12.43	11.31	12.60
			全国	%	9.40	9.68	9.62	9.38	9.13
	③事業費	区 分		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
決 算 額		千円	12,979	13,139	12,411	12,314	12,033		
④事業評価	総括 (成果と課題)	【学校保健の推進について】 1. 児童生徒の健康を将来にわたって守ろうという観点から、毎年度、内科健診、歯科検診、運動器検診等の各種健診を実施し、学校や医療機関等との連携を密にしながら取り組みを進め、円滑に事業を実施することができた。 2. 学校医等の専門家からは、「肥満は、運動(消費カロリー)と食事(摂取カロリー)の両面から検討して行く必要があり、場合によっては、個別の対応が必要」と助言を受けている。このことを受け、平成27年度は、医師による保護者と児童生徒の個別面談を試行し、一定の成果を上げることができた。今後も指導方法について、引き続き検討していきたい。 ※ 肥満度は、年齢、身長から定められる「標準体重」と比べ、自身の体重がどれくらいの割合で離れているかを表したものであり、標準体重より20%以上体重が大きい場合、「肥満」と判断される。							
		【安全教育の推進について】 1. 各学校で交通安全教室を開催し、児童に対し交通ルールや自転車の安全運転の指導を行った。また、今後もスクールガード等による地域の見守りの体制づくりに努める。							

二戸市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況
点検・評価分析シート

主要事業	学校給食の充実		担当課等	二戸市学校給食センター					
事業名称	3 学校教育の充実								
項目名称	(3) 健康・安全教育の推進-②								
① 事業概要	実施根拠法令	学校給食法							
	実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 補助金交付 ☐ その他 ()							
	事業費内訳	☐ 国庫補助 ☐ 県単 ☒ 一般財源 ☐ その他 ()							
	対象(～に対して)	児童 生徒 教職員							
	目的(目指すべき姿)	学校給食を充実することによって児童生徒の健康の保持増進を図るとともに、望ましい食習慣を養い、食の大切さや食への理解を深める。							
	事業内容 (平成27年度)	市内小・中学校に対する学校給食の提供 小学校9校、中学校5校(盛岡みたけ支援学校二戸分教室小・中学部含む)							
② 事業実績・効果	区 分		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	事業の実績	1	給食数	食	474,031	451,000	437,260	422,243	414,201
		2	給食日数	日	180.5	179.0	175.5	176.0	177.5
		3	食育指導(TT)	回			57	56	54
事業効果	1								
③ 事業費	区 分		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	決 算 額		千円	119,165	113,239	109,899	109,334	107,280	
④ 事業評価	総括(成果と課題)	<p>1. 児童生徒の心身の健全な発達に資するため、安全で安心な給食の提供に努めるとともに、文部科学省が示す「学校給食摂取基準」を参考に栄養バランスのとれた献立により、1日約2,330食を市内14小中学校に提供した。また、学校教諭と栄養教諭が連携した食育指導(※TT指導)を展開したことにより、児童生徒が自らの食生活について正しい知識を深めることができた。</p> <p>2. 児童生徒が学習した内容を家庭に「食育だより」を通じ周知していくなど、家庭と連携した食育指導の充実に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> よく噛んで食べることが肥満予防にも繋がることから、噛みごたえのある食材(豆類、根菜類、海藻類など)を多く取り入れた献立とし、「食育だより」等で周知した。 食指導では、「体に良いおやつを食べ方」などのテーマも用意して実施した。 <p>3. 食生活の多様化により児童生徒も生活習慣病や食物アレルギーなどの健康問題が増加傾向にあることから、家庭や学校、関係機関との連携のもと健全な食生活の構築に努めていく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> 栄養教諭・学校栄養職員が各学校の保健委員会に参画し、栄養や望ましい食習慣等についてアドバイスを行った。 <p>4. 今後も関係機関と連携し、安心して安全、おいしい給食の提供に取り組む。</p> <p>※ TT(チームティーチング): 複数の教師が協力して授業を行う指導方法</p>							

二戸市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況
点検・評価分析シート

主要事業	地産地消の推進		担当課等	二戸市学校給食センター					
事業名称	3 学校教育の充実								
項目名称	(3) 健康・安全教育の推進-③								
① 事務事業概要	実施根拠法令	学校給食法							
	実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 補助金交付 ☐ その他 ()							
	事業費内訳	☐ 国庫補助 ☐ 県単 ☒ 一般財源 ☐ その他 ()							
	対象(～に対して)	児童 生徒 保護者 教職員							
	目的(目指すべき姿)	市内生産物を学校給食の食材として優先的に使用することによって、地場産品の消費拡大に貢献するとともに、食生活が様々な人の活動に支えられていることなど、児童生徒の食への理解を深める。							
	事業内容 (平成27年度)	二戸市産農産物等の地消推進							
② 事業実績・効果	区 分		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	事業の実績	1	市産地産地消率	%	40.6	43.5	45.2	45.2	45.6
		2	県産地産地消率	%	53.5	56.1	56.7	59.5	57.7
	事業効果	1							
③ 事業費	区 分		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	決 算 額		千円	119,165	113,239	109,899	109,334	107,280	
④ 事業評価	総括(成果と課題)	<p>1. 平成27年度は、市内の学校給食物資購入登録者が1者(きゅうり農家)加わり、旬の青果物を積極的に使用できる体制が強化されたことから、前年度をわずかに上回った。地産地消率を県内産で捉えれば、県平均(平成26年度46.5%)を上回る高い水準にあった。</p> <p>2. 海産物を調達できないことや市内青果物の供給が7月から11月頃に限定されること、生産者の高齢化が進み市内登録者数がなかなか増えないなどから、市産地産地消率50%の目標値を達成することはできなかった。</p> <p>3. 毎月19日(食育の日)、25日(二戸食の日)を中心に地元産の食材を取り入れた給食の提供により、児童生徒に郷土の優れた食文化についての理解と食生活が人々の様々な活動によって支えられていることへの理解が深まった。また、新鮮で安全・安心な食材の確保と生産、流通、消費について正しい理解を深めることができた。</p> <p>4. 農林課と連携し、学校給食の食材全てを二戸産の農畜産物で提供する取り組みや市内農産物使用への補助などにより、地産地消の推進、農業の生産振興に寄与した。</p> <p>5. 今後も、旬の市内青果物の積極的活用や農林課などと連携して年間を通じ使用できる食材や供給者の発掘、学校給食を通じた地場産品の普及などにより、地産地消を推進して行く必要がある。</p>							

二戸市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況
点検・評価分析シート

主要事業	就学前教育の支援等		担当課等	教育企画課					
事業名称	3 学校教育の充実								
項目名称	(4) 幼児教育・高等学校教育の充実								
① 事務事業概要	実施根拠法令	二戸市幼稚園就園奨励費補助金交付要綱 幼稚園教育要領 保育所保育指針学習指導要領							
	実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☒ 補助金交付 ☐ その他 ()							
	事業費内訳	☒ 国庫補助 ☐ 県単 ☒ 一般財源 ☐ その他 ()							
	対象(～に対して)	就園奨励費事業者 幼稚園・小学校の教諭 保育士							
	目的(目指すべき姿)	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教育の普及・保護者の経済的負担軽減のため、就園に対する支援を行う。 ・幼児が円滑に小学校に適応できるよう、幼稚園・保育所と小学校間の連携を深め、情報共有と相互理解を図る。 							
	事業内容 (平成27年度)	幼・保・小連携の強化							
② 事業実績・効果	区 分		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	事業の実績	1	就園奨励費補助事業	人	188	158	151	153	
		2	幼・保・小連携推進会議、研修会	回	3	3	3	3	3
	事業効果	1							
③ 事業費	区 分		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	決 算 額		千円	20,873	16,699	17,169	20,080		
④ 事業評価	総括 (成果と課題)	<p>【就園奨励費補助事業】 平成27年度から市内の認定こども園等が、「子ども子育て支援新制度」に移行したため、保護者が所得に応じた保育料等を支払うことになり、保護者の所得に応じて保育料等を減額する就園奨励費事業は実施されなかった。</p> <p>【幼・保・小連携の強化】 未就学児童が、幼児施設等から小学校へ円滑に移行できるよう、連携推進会議において幼保小連携研修会の研修内容の見直しを行った。 また、授業参観や情報交換・意見交流など交流活動の充実を進めたことにより、相互理解と指導方法の工夫が図られ、小学校での円滑な受け入れが図られた。</p>							

二戸市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況
点検・評価分析シート

主要事業	就学支援の充実等		担当課等	教育企画課					
事業名称	3 学校教育の充実								
項目名称	(5) 教育環境の整備・充実-①								
① 事務事業概要	実施根拠法令	学校教育法 要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育就学奨励費補助金交付要綱 二戸市就学援助費支給要綱 学校図書館法							
	実施方法	■直接実施 □業務委託 □補助金交付 □その他()							
	事業費内訳	■国庫補助 □県単 ■一般財源 □その他()							
	対象(～に対して)	児童 生徒							
	目的(目指すべき姿)	<ul style="list-style-type: none"> 教育の機会の均等を確保するため、経済的理由により就学困難な者に対し、給食費、学用品費等について援助する「要保護及び準要保護児童生徒援助」を行い、就学支援体制の充実に努める。 児童生徒が読書を通して、言葉を学び、創造力を培うとともに、子どもたちの学習への興味・関心と豊かな心を育むため学校図書館の充実等に努める。 							
	事業内容 (平成27年度)	1 就学支援の充実(学用品費・学校給食費・医療費等経費の支給による保護者の経済的負担の軽減) 2 読書活動の充実(学校図書館支援員の配置及びブック・ツアーの実施)							
② 事業実績・効果	区 分			単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	事業の実績	1	要保護及び準要保護児童生徒援助	人	288	268	263	255	276
		2	学校図書館支援員	人				2	3
		3	読書活動推進事業(児童生徒贈呈分/1人当たり)	冊					2
	事業効果	1	学校図書標準充足率(小学校)	%	103.1	108.8	113.1	113.7	118.6
		2	学校図書標準充足率(中学校)	%	99.8	99.7	103.3	105.7	111.1
③ 事業費	区 分			単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	決算額	1	要保護及び準要保護児童生徒援助	千円	25,440	23,167	23,388	23,281	26,195
		2	図書購入費(小学校費)	千円	4,024	1,690	2,959	1,826	5,010
		3	図書購入費(中学校費)	千円	3,171	1,377	1,805	1,215	3,356
		4	読書活動推進事業(小学校・児童贈呈分)	千円					3,426
		5	読書活動推進事業(中学校・生徒贈呈分)	千円					1,501
④ 事業評価	総括(成果と課題)	【就学支援の充実】 1. 年度当初の申請だけでなく、随時申請を受け付け、経済的理由により就学困難と認められる児童生徒に対して給食費、医療費及び就学に必要な学用品費等各種経費について援助した。 2. 就学支援制度の周知を図り、引き続き就学困難者の把握に努める必要がある。 3. 平成25年8月の生活保護基準引き下げ以降、その影響が及ばないよう引き下げ以前の基準を用いて認定を行っている。							
		【読書活動の充実】 1. 平成27年度は8,366千円(通常配分3,234千円)を配分し、児童・生徒のニーズに応える読み物、教科等の学習に利用できる学校図書資料等を整備した。 また、児童生徒がより利用しやすい学校図書館を目指すため、学校図書館支援員3名(前年度より1名増員)を配置し、各小中学校を巡回訪問して、蔵書の管理、環境整備、図書館の飾り付け、読み聞かせ等を行った。 2. 平成27年度の学校図書標準充足率実績は、小中学校共に100%を超えているが、学校別では100%に達していない小学校が1校あり、これまでも重点的に予算配分をしているが、今後も予算配分を考慮しながら、全学校の100%達成を目指す。 3. 児童の読書活動推進と市立図書館の利用促進を図るため、市のバスを運行しブック・ツアーを実施した。御返地小学校が年4回、二戸西小学校が年3回利用した。 4. 子どもたちが家庭において読書に親しむ機会を提供するため、読書活動推進事業(地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金を活用)を実施し、市内小中学校全児童生徒に希望図書(1名につき2冊)を贈呈した。							

二戸市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況
点検・評価分析シート

主要事業	福岡中学校建設事業等		担当課等	教育企画課					
事業名称	3 学校教育の充実								
項目名称	(5) 教育環境の整備・充実-②								
① 事務事業概要	実施根拠法令	学校教育法							
	実施方法	■直接実施 ■業務委託 □補助金交付 □その他()							
	事業費内訳	■国庫補助 □県単 ■一般財源 ■その他(起債、基金)							
	対象(～に対して)	児童生徒 教職員							
	目的(目指すべき姿)	安全で安心な学校生活をおくるための教育環境の整備							
	事業内容 (平成27年度)	1 福岡中学校建設事業 2 小中学校リフレッシュ事業							
② 事業実績・効果	区 分		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	1 福岡中学校建設事業	福岡中学校建設事業	1式						
		測量設計業務		93,503					
		校舎建築工事			552,062	2,525,661			
		旧校舎解体工事					243,405		
		グラウンド整備・照明等工事							173,779
	記念石碑等移設工事							356	
	2 小中学校リフレッシュ事業	小中学校リフレッシュ事業	1式						
		御返地小プールろ過機改修工事		5,556					
		御返地小プールサイド改修工事		9,349					
		石切所小ガス設備改修工事		567					
		中央小改修工事(特別支援教室)		1,533					
		金田一中バックネット改修工事			6,609				
		金田一中トイレ改修工事			2,282				
		中央小プールろ過機改修工事				6,689			
		石切所小プールろ過機改修工事				6,115			
		二戸西小フェンス改修工事				585			
		御返地中学校舎外壁改修工事				17,931			
		浄法寺中プールサイド改修工事				6,720			
		浄法寺中放送設備改修工事				2,898			
金田一小教室等内装改修工事						6,261			
二戸西小放送設備改修工事						1,782			
二戸西小プール更衣室改修工事					2,486				
浄法寺中下水道接続等工事					6,380				
金田一中バスケットゴール改修工事					4,514				
仁左平小環境整備工事							22,399		
仁左平小防球ネット改修工事							7,724		
福岡小太陽光発電設備改修工事							10,908		
御返地小構内舗装工事							4,590		
御返地中構内舗装工事							3,932		
③ 事業費	区 分		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	決 算 額	福岡中学校建設事業	93,503	552,062	2,525,661	243,405	174,135		
		小中学校リフレッシュ事業	17,005	8,891	40,938	21,423	49,553		
④ 事業評価	総括(成果と課題)	<p>1. 福岡中学校建設事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グラウンド整備、グラウンド・テニスコート照明施設整備、屋外トイレ・物置建築に係る工事請負契約を27年2月12日付締結し、屋外トイレ・物置建築工事は7月14日に完成、グラウンド整備、グラウンド・テニスコート照明施設整備は10月5日に完成した。 ・上記の工事完了により、平成24年度から平成27年度にかけての福岡中学校建設事業が終了し、これに係る落成式典を11月21日に開催した。 <p>2. 小中学校リフレッシュ事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仁左平小学校環境整備工事については、敷地内のフェンス等の老朽化に伴う環境整備、御返地小学校・御返地中学校構内舗装工事については、敷地内の道路整備、福岡小学校太陽光発電設備改修工事については、落雪による破損部分を修繕した。 ・今後も引き続き施設の老朽化等に伴う不具合部分について、計画的に改善するよう努めていく必要がある。 							

二戸市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況
点検・評価分析シート

主要事業	教育振興運動の推進等		担当課等	生涯学習課					
事業名称	4 社会教育の充実								
項目名称	(1) 教育振興運動を基盤とした教育力の向上①								
① 事務事業概要	実施根拠法令	社会教育法第5条 教育基本法第13条 二戸市社会教育団体補助金交付要綱 二戸市社会教育指導員の設置等に関する規則							
	実施方法	■直接実施 □業務委託 ■補助金交付 □その他()							
	事業費内訳	■国庫補助 □県単 ■一般財源 ■その他(地域づくり人づくり基金)							
	対象(～に対して)	小中学生及びその家庭 市社会教育団体							
	目的(目指すべき姿)	学校、家庭、地域住民及び行政等の関係者が、教育におけるそれぞれの役割と責任を自覚しながら連携・協力に努め、自主的で創造性に富む心豊かな人間を育成する。また、生きていくために学ぶべき課題をテーマにした講座の実施など、将来の地域を担う子どもたちがたくましく心豊かに育つような体験・交流の機会を提供する。							
	事業内容 (平成27年度)	1 教育振興運動の推進(集約集会の開催、「家庭教育の手引き」配付等) 2 体験的・交流活動の提供(放課後子ども教室、棚陰舎きぼう塾) 3 社会教育団体の支援(6団体への補助金交付) 4 指導体制の充実							
② 事業実績・効果	区 分		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	事業の実績	1	家庭教育学級開催数	回	48	45	43	44	45
		2	家庭教育講演会開催数	回	1	1	1	1	1
		3	子ども教室実施箇所数	カ所	6	6	6	6	6
		4	棚陰舎きぼう塾年間開催数	回	5	5	5	5	5
		5	補助金交付団体数	団体	6	6	7	7	6
		6	推進センター研修参加者数	人	16	25	13	32	36
	事業効果	1	集約集会参加者数	人	109	150	117	140	137
		2	子ども教室利用者数(延べ)	人	11,283	13,542	17,122	19,846	18,255
3		棚陰舎きぼう塾参加者数(延べ)	人	565	431	456	487	1,231	
③ 事業費	区 分		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	決 算 額		千円	7,693	8,057	8,227	8,543	9,091	
④ 事業評価	総括(成果と課題)	<p>【教育振興運動の推進】</p> <p>1. 27年度の集約集会は市PTA研究大会との合同開催の2年目であり、県北教育事務所教育振興運動地域課題支援事業として実施し、教育振興運動の基本理念や全県共通課題の取組みについて理解を深めた。</p> <p>2. 27年度は『家庭教育の手引き』を増刷し啓発態勢を整えた。</p> <p>3. 24年度から27年度まで活用していた国庫委託事業(10/10)が終了。28年度は新たな国庫委託事業で実施しているが29年度の財源として活用できるか不透明であり、財源の確保が課題である。</p> <p>【体験的・交流活動の提供】</p> <p>1. 子ども教室の利用者数は減少したが申込者数は横ばいであり、広く認知されてきていることが伺える。人員や設備の面で子ども一人ひとりに対してのきめ細かな対応が困難となっている教室もある。27年度は児童クラブの対象学年が一部拡充、二戸西児童クラブが開設され、二戸西小学校では市内で唯一、子ども教室と児童クラブが一体型で運営されている。</p> <p>2. 棚陰舎きぼう塾では、世界の子どもの状況が理解できる映画の上映や著名人による九戸城に関する講演や郷土学習・大学訪問など、将来を考え地域を学び愛着を深める機会を提供し、参加者からも好評であった。また、中学生だけでなく、映画の上映は小学校4～6年生を対象として行い、幅広い学年に学習機会の提供が図られた。全5回のうち、3回は土曜学習の他のメニューと併せて開催し、毎回ごとに参加者を募ったため参加機会が広がった。</p> <p>【社会教育団体の支援】</p> <p>1. 27年度は継続して活動支援をしている6団体に対し補助金を交付した。</p> <p>【指導体制の充実】</p> <p>1. 推進センターの研修については、広く学校や関係団体等への呼びかけを継続しており参加者がさらに増加し、資質向上が図られた。</p>							

二戸市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況
点検・評価分析シート

主要事業	公民館各種講座の実施		担当課等	市立公民館					
事業名称	4 社会教育の充実								
項目名称	(1) 教育振興運動を基盤とした教育力の向上②								
①事務事業概要	実施根拠法令	社会教育法							
	実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 補助金交付 ☐ その他()							
	事業費内訳	☐ 国庫補助 ☐ 県単 ☒ 一般財源 ☐ その他()							
	対象(～に対して)	市民							
	目的(目指すべき姿)	生涯の各時期に対応する学習機会を充実し、住民の教養の向上、生活文化の振興、健康の増進等に寄与する。							
	事業内容 (平成27年度)	青少年教育、成人教育、女性教育、高齢者教育、芸術文化などに関する各種講座の実施							
②事業実績・効果	区分			単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	事業の実績	1	講座の実施数	回	230	196	192	199	199
		2	現代的課題講座数	回	10	10	17	15	26
	事業効果	1	講座参加数	人	延5,230	延4,419	延4,055	延4,365	延4,974
		2	講座からサークルへの立ち上げ	団体	1				
③事業費	区分			単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	決算額			千円	1,551	1,570	1,545	1,444	1,607
④事業評価	総括(成果と課題)	<p>1. 社会の急激な変化に伴い市民の学習要求は年々多様化しており、教養の向上、健康の増進など、市民が生きがいのある人生を送るため、様々な学習の機会を提供した。また、遠距離講座対象者に対しては、できる範囲において送迎バスを運行し、講座参加の機会を提供している。</p> <p>市民の学習機会を充実させるために各種講座等の開催(花いっぱい講座・食育講座・スマートフォン講座、介護のあり方についての講演や健康講座・ノルディックウォーキング・パークゴルフ等)、知識の習得、趣味、健康の増進が図られ、楽しく参加者相互の交流ができるよう社会教育の施設として市民に活用してもらえるよう努めた。</p> <p>2. 市民の学習要望を的確に把握し、少ない予算で最大の効果を出す努力が必要なため、職員による出前講座を利用している。内容によっては、講座の募集人数を多くしないで、少人数でも参加者の満足度を満たす講座への転換が必要と考え取り組んでいる。また、高齢化により参加者が減少傾向にあるため、今後より一層の工夫が必要である。</p> <p>3. 講座募集は、広報・チラシ・ポスター等で市民に周知している。また、参加者の意向を知るため、事業終了後にはアンケートを回答してもらい次回の事業に反映させるよう努めている。</p>							

二戸市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況
点検・評価分析シート

主要事業	図書サービスの充実		担当課等	図書館					
事業名称	4 社会教育の充実								
項目名称	(1) 教育振興運動を基盤とした教育力の向上③								
① 事務事業概要	実施根拠法令	図書館法第3条							
	実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 補助金交付 ☐ その他()							
	事業費内訳	☐ 国庫補助 ☐ 県単 ☒ 一般財源 ☐ その他()							
	対象(～に対して)	市民							
	目的(目指すべき姿)	図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して市民の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする							
	事業内容 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館資料の貸出 ・ 移動図書館車の巡回 ・ 各種講座の開催 ・ ブックスタートの実施 ・ おはなしデビューの実施 ・ 開館時間の延長 ・ 窓口業務委託 							
② 事業実績・効果	区 分		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	事業の実績	1	開館日数	日	245	275	287	282	285
		2	移動図書館車の運行	日	133	96	96	96	96
		3	各種講座等の開催	回	23	29	15	14	11
		4	ブックスタート事業	回	12	12	12	12	12
		5	おはなしデビュー事業	回					10
		6	読書感想文コンクール	回	1	1	1	1	1
		7	渡辺喜恵子展	回			1		
	事業効果	1	貸出人数	人	19,731	22,505	24,793	25,467	26,150
		2	貸出冊数	冊	65,909	86,688	89,219	91,700	96,095
3		新規登録者数	人	617	726	720	568	528	
③ 事業費	区 分		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	決 算 額		千円	1,022	1,765	2,180	1,882	23,253	
④ 事業評価	総括(成果と課題)	<p>1. 図書館への関心を高め、より多くの市民に利用してもらえるよう展示・企画等を工夫した。利用者からも好評をいただき、二戸市教育振興基本計画の数値目標である貸出冊数70,000冊を超え、貸出人数とともに増加した。</p> <p>2. 貸出人数・冊数は増加したが、新規登録者数は減少した。7～9歳の児童と30代・40代の減少が目立っている。児童については、児童数の減少が貸出人数の減に繋がっている。その他の世代については、機会をとらえて読書の効用を伝え、利用促進につなげる必要がある。</p> <p>3. 市民のニーズに応えるため、リクエストによる図書購入や県内図書館との相互貸借などにより、効率的な運営に努めた。リクエスト件数は前年度の541件から688件に増加、予約件数は前年度2,007件から2,433件に増加した。</p> <p>4. 郷土史講座、古典文学講座も昨年度に引き続き開催し、市民の学習欲求に応えた。手づくり絵本教室においては、岩手県読書運動推進協議会主催の「手作り絵本」募集に応募し、最優秀賞1名、優秀賞2名が受賞した。</p> <p>5. 幼児期から書に親しむ習慣を培い、読解力や思考力の育成につなげるため、地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金を活用したおはなしデビュー事業を実施し、3歳児健診時に絵本を配布した。今後もブックスタート事業と併せて、書に親しむ習慣の定着を図っていく必要がある。</p> <p>6. 二戸市民読書感想文コンクールは、読書推進に一定の目的を果たしたことから、平成27年度をもって終了とした。今後は全国読書感想文コンクール課題図書の整備等でコンクール参加を促していく。</p> <p>7. 平成27年4月から窓口業務委託を実施し、平日の開館時間を1時間延長したことにより、仕事の帰りや学校の帰りに余裕を持って利用できるようになり、利用者の利便性が高まった。また、委託後の窓口業務は円滑に行われた。引き続き、市民の多様なニーズに対応できるよう、従事する職員の資質向上を図っていく必要がある。</p>							

二戸市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況
点検・評価分析シート

主要事業	公民館施設の計画的改修		担当課等	市立公民館					
事業名称	4 社会教育の充実								
項目名称	(2) 社会教育施設の環境整備一①								
事務事業概要	実施根拠法令	社会教育法第20条から第42条							
	実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 補助金交付 ☐ その他()							
	事業費内訳	☐ 国庫補助 ☐ 県単 ☒ 一般財源 ☐ その他()							
	対象(～に対して)	市民							
	目的(目指すべき姿)	施設の適正な機能を維持する。							
	事業内容 (平成27年度)	施設修繕・機器修繕や更新 中央(修繕363・原材料299・備品購入443)、石切所(修繕455・備品130)、 金田一(修繕357・備品購入87・釜沢分館水道工事1,099)、カシオペア(修繕218)							
②事業実績・効果	区 分		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	事業の実績	1	修繕件数	件	23	20	25	25	24
		2	委託料	件	1				
		3	工事請負費	件	1		2	2	1
		4	備品購入費	件	7	1	6	8	13
事業効果	1	利用者数全館	人	66,538	61,701	58,832	61,755	64,294	
③事業費	区 分		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	決 算 額		千円	6,243	1,429	11,227	12,275	3,451	
④事業評価	総括(成果と課題)	<p>1. 施設管理については、各館・各分館において施設・設備の老朽化等により修繕が必要となる場合が増えており、随時修繕を行った。また、緊急性がある場合には関係部署と協議し早急に対応し、施設の安全性・利便性の確保に努めた。</p> <p>また、公民館の管理・運営に必要な備品等についても、更新・補充を行った。</p> <p><修繕と改修工事の内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 中央(下斗米分館受水槽引柱改修工事・中央公民館男子トイレ大便器小便器修理・二階第二資料室への床・玄関ホール照明(LEDに交換)・地上デジタルアンテナ工事・二階和室畳表替え・旧ボイラー煙突解体修繕) 金田一(釜沢分館壁床・体育館排煙装置・釜沢分館屋根・体育館暖房機・釜沢分館水道設備設置工事) 石切所(受付窓口修繕・事務室床補強修繕・非常口ポーチ修繕(講義室A)・洗面台水道管修繕・電話用配線業務・電源業務・自動火災報知設備修繕・事務室床換気孔及び外壁修繕・ポーチ改修) カシオペア(暖房器具修理・外壁修理・大嶺分館玄関屋根修理・大嶺分館体育館誘導灯修理) <p><備品購入></p> <ul style="list-style-type: none"> 中央(サイクロン掃除機1台・モノクロ複合機1台・パンフレットスタンド2台・ガス湯沸器1台・公民館管理用公衆電話機1台) 金田一(電気ポット2・ガス炊飯器2・ガスコンロ1) 石切所(ブルーレイディスクプレーヤー1台・公民館管理用公衆電話機1台) <p>2. 公民館運営については公民館運営審議会や利用者の要望等把握し、施設・設備の修繕や更新により、市民が利用しやすい環境づくりに努める必要がある。</p> <p>また、災害時避難所となることから、それに対応できるよう施設整備も必要である。</p>							

二戸市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況
点検・評価分析シート

主要事業	図書館の整備・充実		担当課等	図書館					
事業名称	4 社会教育の充実								
項目名称	(2) 社会教育施設的环境整備-②								
① 事業概要	実施根拠法令	図書館法第3条							
	実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 補助金交付 ☐ その他 ()							
	事業費内訳	☒ 国庫補助 ☐ 県単 ☒ 一般財源 ☐ その他 ()							
	対象(～に対して)	市民							
	目的(目指すべき姿)	資料の充実、施設・設備の整備に努め、地域における学習の拠点としての機能を果たす。							
	事業内容 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・蔵書の充実 ・図書館システムの活用 ・玄関スロープ修繕 ・児童室照明設置 ・AED購入 ・記載台購入 							
② 事業実績・効果	区 分		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	事業の実績	1	図書購入(寄贈含む)	冊	4,488	4,832	5,543	5,126	6,139
		2	備品購入	件	25	1	5	3	4
		3	冷温水発生装置改修	式	1				
		4	図書館改修工事 他	式	1				
		5	外壁・屋根等改修工事	式		1			
		6	図書館システム更新	式			1		
事業効果	1	蔵書冊数	冊	79,806	84,638	90,181	95,307	95,746	
③ 事業費	区 分		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	決 算 額		千円	49,615	22,371	18,440	10,580	10,001	
④ 事業評価	総括(成果と課題)	<p>1. 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金により、児童書1,576冊を購入し、児童図書の充実を図った。</p> <p>2. 二戸市教育振興基本計画の数値目標である蔵書冊数94,000冊を達成し、また、収容冊数の限界を迎えたことから、利用に適さない図書5,700冊を除籍した。今後も適正な蔵書管理を行うため、資料価値の高い図書の保存と利用に適さなくなった図書の除籍を行い、引き続き閉架書庫の保存環境の整備を検討していく必要がある。</p> <p>3. 老朽化した玄関スロープの修繕を行った。また、児童室に新たに照明を設置し利用しやすい環境の整備を行った。</p>							

二戸市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況
点検・評価分析シート

主要事業	郷土芸能保存団体への活動支援等		担当課等	文化財課					
事業名称	5 芸術文化の振興								
項目名称	(1) 芸術文化の振興－①								
① 事務事業概要	実施根拠法令								
	実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☒ 補助金交付 ☐ その他（ ）							
	事業費内訳	☐ 国庫補助 ☐ 県単 ☐ 一般財源 ☒ その他（基金繰入金）							
	対象（～に対して）	郷土芸能団体							
	目的（目指すべき姿）	・郷土芸能団体の技術的な向上と継承、活動の活性化を図るため、市指定無形民俗文化財（民俗芸能）団体に対し支援施策を講じることにより、二戸市の特性を生かした個性的な地域文化を創造する。							
	事業内容 （平成27年度）	郷土芸能保存団体への活動支援等 ・市指定無形民俗文化財（民俗芸能）団体 17 団体のうち、活動している 13 団体に対する活動支援のための補助金交付（50,000 円×13 団体） ・二戸市郷土芸能祭開催補助金の交付（二戸市郷土芸能保存団体連絡協議会へ 250,000 円） ・二戸地区郷土芸能発表会開催負担金の交付（40,000 円）							
② 事業実績・効果	区 分		単位	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	
	事業の実績	1	補助金交付団体数	団体	13	13	13	13	13
		2	市郷土芸能祭参加団体数（市内）	団体	11	11	13	13	12
	事業効果	1	市郷土芸能祭観客数	人	400	402	298	750	450
③ 事業費	区 分		単位	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	
	決 算 額		千円	940	940	940	940	940	
④ 事業評価	総括（成果と課題）	<ol style="list-style-type: none"> 育成補助金の交付や二戸市郷土芸能保存団体連絡協議会主催の二戸市郷土芸能祭の開催については、郷土芸能団体の後継者育成の練習や発表の場の確保などに役立っている。 観客数は、3 圏域での交流祭や、二戸地区発表会との共催などもあり微増で推移しているものの、引き続き市民への周知の徹底や観客数の増加を図る必要がある。 郷土芸能祭は市内全域の郷土芸能団体の発表の場であるとともに市民へ理解を深めてもらう場であることから、市内全域の郷土芸能団体を対象としているが、出演に際しての人数確保の都合などから参加しない団体もあり、今後も引き続き各団体に協力を呼びかけていく必要がある。 後継者不足等により活動の継続が危ぶまれている郷土芸能団体が出てきています。保存伝承活動には一定の経費が掛かることから今後は、従来の補助に加え、「発表」「伝承活動」「地域行事」の3つの活動に対し追加補助の支援を行うなど、後継者の育成や伝承活動の活発化の取り組みが必要となってきている。 							

二戸市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況
点検・評価分析シート

主要事業	教育文化団体への活動支援等		担当課等	生涯学習課					
事業名称	5 芸術文化の振興								
項目名称	(1) 芸術文化の振興一②								
① 事務事業概要	実施根拠法令	社会教育法第5条							
	実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☒ 補助金交付 ☐ その他 ()							
	事業費内訳	☐ 国庫補助 ☐ 県単 ☒ 一般財源 ☒ その他 (地域づくり人づくり基金)							
	対象(～に対して)	市民・市芸術文化団体・文化施設							
	目的(目指すべき姿)	<p>日々の暮らしの中で優れた芸術文化情報にふれ、鑑賞できる機会が広がっている。また、余暇時間の増大に伴って、市民の芸術文化に寄せる関心も高まり、主婦や高齢者を中心に各種文化サークルの活動が活発になっている。</p> <p>こうしたなか、市民の芸術文化活動のさらなる奨励を図るため、公民館講座などによる創作・学習機会の提供に努めるとともに、市文化祭や市民文士劇などを通して発表機会・鑑賞機会の拡充を目指す。</p>							
事業内容 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化団体への育成補助、文化祭の実施 ・自主文化事業の実施 ・文化会館リフレッシュ事業の実施(舗装工事) ・「いのへアートギャラリー」「いのへカルチャーフェスティバル」の実施 ・二戸市民文士劇への補助金交付 								
② 事業実績・効果	区 分		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	事業の実績	1	補助金交付団体数	団体	4	2	2	2	2
		2	文化祭参加団体数	団体	37	37	38	39	38
		3	自主文化事業数	回	13	14	16	16	17
		4	工事名		調光装置等 改修工事	冷却水ポンプ 改修工事	中ホール音響 設備改修工事	電気設備更新工事 空調設備更新工事	舗装工事
	事業効果	1	文化祭入場者数	人	5,467	4,907	4,312	4,439	4,887
		2	文化会館利用者数	人	59,269	51,084	69,519	53,914	67,757
3		芸術家作品展入場者数	人		200			184	
③ 事業費	区 分		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	決 算 額		千円	95,078	10,398	19,577	46,748	22,014	
④ 事業評価	総括(成果と課題)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成23年度から5年間、(株)東北共立が文化会館の指定管理者となっている。(H27が最終年度) 2. 適正かつ円滑な管理運営と、効率的で優れた芸術鑑賞機会の提供に努めている。また、文化祭の実施により、市民の自主的な文化活動を推進している。 3. 幅広い年齢層に芸術鑑賞機会を提供できるように努めるとともに、芸術文化の環境整備に努めている。 4. 利用者数は、平成26年度に比べ増加している。これは、指定管理者による利用率・利用者数の向上の取り組みが実を結んできているものである。 5. 3年ぶりに芸術家作品展(いのへアートギャラリー)を開催した。また、芸術文化協会への委託事業として、「ちやれんじアート10」(いのへカルチャーフェスティバル)を企画。ワークショップと展示会・発表会を開催し、ワークショップには延べ141人の参加、展示会には224人の来場者があった。芸術文化に関わる市民の掘り起こしのきっかけとして期待が持てる。 6. 二戸市民文士劇実行委員会に対し補助金交付。平成27年度は、26年度に引き続き、「天を衝く」を再演。昼夜2回公演で来場者1,500名を数えた。 							

二戸市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況
点検・評価分析シート

主要事業	天台寺文化財修繕事業の促進		担当課等	文化財課					
事業名称	5 芸術文化の振興								
項目名称	(2)文化財の保護・保存と活用－①								
① 事務事業概要	実施根拠法令	文化財保護法							
	実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☒ 補助金交付 ☐ その他()							
	事業費内訳	☐ 国庫補助 ☒ 県単 ☒ 一般財源 ☐ その他()							
	対象(～に対して)	天台寺							
	目的(目指すべき姿)	重要文化財である天台寺の本堂・仁王門の解体修理を支援・推進する。							
	事業内容 (平成27年度)	天台寺文化財修繕事業の促進 ・文化財建造物保存修理関係者等連絡協議会への参加(情報収集) ・関係機関(国及びその外郭団体、県、寺等)との協議、打合せの推進							
② 事業実績・効果	区分		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	事業の実績	1	協議会へ参加	回	1	1	1	1	1
		2	関係機関との協議	回	4	3	5	1	2
		3	会議等への出席	回	1	1	2	2	1
		4	保存修理委員会の開催	回			3	4	7
	事業効果	1	工事進捗率	%					22
③ 事業費	区分		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	決算額		千円	225	182	4,525	9,899	8,775	
④ 事業評価	総括(成果と課題)	<p>1. 現在の天台寺本堂・仁王門は江戸時代前期(約350年前)の建築であり、腐朽が進み早急な修復が必要とされ、平成25年9月より国庫補助として保存修理工事に着手している。 なお、解体作業が終了し、想像以上に腐朽が進んでいることが確認されたこと、また、建立当時はスギ板材による屋根の葺き方であったことが明らかとなり、本来の姿に復原するため、事業期間は、平成29年3月31日までの計画であったものを36か月延長し、平成32年3月31日までとし、事業費については、421,800千円から797,310千円に増額となったことから、引続き県の支援を要請する必要がある。</p> <p>2. 文化庁等の関係機関と協議を重ねることで現在進めている保存修理工事に必要な情報を共有し、速やかな事業推進が図られた。また、文化財建造物保存修理関係者等連絡協議会等への参加の結果、修復事業に必要な情報収集が図られた。</p> <p>3. 平成27年度末の工事進捗率は22%である。</p>							

二戸市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況
点検・評価分析シート

主要事業	史跡九戸城跡の保護と活用		担当課等	文化財課					
事業名称	5 芸術文化の振興								
項目名称	(2)文化財の保護・保存と活用②								
①事務事業概要	実施根拠法令	文化財保護法 二戸市文化財保護条例 二戸市文化財保護条例施行規則							
	実施方法	■直接実施 ■業務委託 ■補助金交付 □その他()							
	事業費内訳	■国庫補助 □県単 ■一般財源 □その他()							
	対象(～に対して)	市民							
	目的(目指すべき姿)	<ul style="list-style-type: none"> ・史跡の保存・保護並びに活用のため、学術調査や危険箇所の補強・修景工事などを実施し、将来的には史跡公園化を図る。 ・史跡九戸城跡における史跡指定地買上げ(平成30年度完了予定) 							
	事業内容 (平成27年度)	史跡九戸城跡の保護と活用 <ul style="list-style-type: none"> ・史跡指定地内の民有地の公有化 ・三ノ丸跡の内容確認調査の実施 ・史跡九戸城跡情報発信・活用事業の実施 ・史跡九戸城跡整備指導委員会の開催 ・九戸城ボランティアガイドの会、九戸城を活かす会への補助金交付 							
②事業実績・効果	区分		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	事業の実績	1	購入面積	m ²	1,174.00	3,780.00	153.46	195.92	619.20
		2	学術調査	m ²	500	500	0	600	1,500
		3	整備指導委員会	回	1	1	1	2	1
		4	補助金交付団体数	団体	2	2	2	2	2
	事業効果	1	九戸城跡ガイド案内者数	人	2,494	2,537	2,181	2,927	3,121
③事業費	区分		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	決算額		千円	20,081	28,081	32,353	30,393	57,124	
④事業評価	総括(成果と課題)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成27年度は、史跡公有化事業によって619.20m²を購入し、史跡指定区域内の公有地化を計画している総面積189,620.23m²のうち、175,070.73m²(92.3%)の公有地化が完了した。また、居宅1棟等の移転等の補償を行った。平成30年度の事業完了に向けて、継続的に取り組む必要がある。 2. 九戸城跡の来訪者数は増加傾向である。これは、九戸城ボランティアガイドの会が、27年度は平日もガイドハウスを来訪者へ開放し、九戸城跡の案内に努めたことによるものである。 3. 史跡九戸城跡はまちづくりの中核をなす重要な遺跡であり、その保護保存と活用は不可欠な主要施策である。整備指導委員会で、第2次整備計画案の作成を指導いただき、計画書の策定を進めている状況であり、近隣の町内会や関係団体などの協力をいただきながら、早期に整備計画を樹立する必要がある。 							

二戸市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況
点検・評価分析シート

主要事業	市内遺跡発掘調査事業等		担当課等	文化財課					
事業名称	5 芸術文化の振興								
項目名称	(2)文化財の保護・保存と活用一③								
①事務事業概要	実施根拠法令	文化財保護法 二戸市文化財保護条例 二戸市文化財保護条例施行規則							
	実施方法	■直接実施 ■業務委託 ■補助金交付 □その他 ()							
	事業費内訳	■国庫補助 ■県単 ■一般財源 ■その他(受託料)							
	対象(～に対して)	市民							
	目的(目指すべき姿)	<ul style="list-style-type: none"> ・市内遺跡から出土した埋蔵文化財の保護活用の推進 ・埋蔵文化財包蔵地の保護 ・市民の郷土・歴史や文化財に対する関心・理解を深める。 							
	事業内容 (平成27年度)	市内遺跡発掘調査事業等 <ul style="list-style-type: none"> ・市内遺跡の緊急発掘調査、室内整理作業、報告書の作成 ・埋蔵文化財の科学的な保存措置の実施 ・体験学習の実施(土器づくり、発掘調査) ・土地区画整理事業に先立つ緊急発掘調査の実施(晴山地区、前小路地区) ・市内の文化財調査 							
②事業実績・効果	区 分		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	事業の実績	1	発掘調査	件	3	4	5	11	13
		2	体験学習の回数	回	54	10	2	2	2
		3	保存処理	個	78	99	98	33	67
		4	文化財調査	件	4	4	4	3	4
事業効果	1	文化財指定	件		1	1		(解除)1	
③事業費	区 分		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	決 算 額		千円	37,122	38,389	39,304	48,630	31,175	
④事業評価	総括(成果と課題)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 埋蔵文化財に関しては、発掘調査(13件)の実施、遺跡調査報告会の開催、体験学習(2回)の開催などによって市民へ調査成果等を公表し、文化財保護の啓蒙を図ることができた。 九戸城の調査成果をまとめた冊子の発行や講演会開催要望もあり、今後はその対応が求められています。 2. 文化財調査委員会議の開催(2回)や、文化財調査を実施したことで、衰亡の著しい市指定天然記念物イチイについての診断や現地調査を実施し、指定を解除した。 また、所在不明であった国重要文化財の土板について現地調査を進め、所在変更等の諸手続を行っている。 3. 指定候補物件が増加してきており、今後は指定に向けた調査を進めることが求められている。 							

二戸市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況
点検・評価分析シート

主要事業	歴史文化交流施設整備事業		担当課等	文化財課				
事業名称	5 芸術文化の振興							
項目名称	(2)文化財の保護・保存と活用－④							
①事務事業概要	実施根拠法令							
	実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 補助金交付 ☐ その他（ ）						
	事業費内訳	☐ 国庫補助 ☐ 県単 ☒ 一般財源 ☐ その他（ ）						
	対象（～に対して）	市民						
	目的（目指すべき姿）	<p>天台寺と漆を中心とした情報や観光案内情報などの発信機能と、子供から高齢者まで多くの市民が集い、市民活動など様々な活動を通し、交流・連携ふれあいを深め、地域の新たな活力の創造と、まちづくりの拠点とします。</p> <p>①地域の玄関口としての機能 ②地域特性を発信する機能 ③地域住民の交流の場としての機能</p>						
事業内容 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・整備検討委員会の開催 ・基本計画・基本設計策定 							
②事業実績・効果	区 分		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	事業の実績	1	整備検討委員会	回			5	1
	事業効果	1						
③事業費	区 分		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	決 算 額						577	207
④事業評価	総括 (成果と課題)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「漆を中心とした天台寺・瀬戸内寂聴師関連の情報発信機能と人々の交流機能を併せ持った施設」いうコンセプトのもと、 <ul style="list-style-type: none"> (1) 「漆」・「天台寺」・「寂聴師」の紹介を中心とした施設 (2) 新施設には、浄法寺歴史民俗資料館、瀬戸内寂聴記念館、漆絵皿展示室の移転などの基本計画を策定した。 2. 施設の活用計画樹立のため、催事計画などのソフト事業の内容や、維持管理計画の検討を進める必要がある。 3. 施設建設費に対する財源確保が課題となっている。 						

二戸市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況
点検・評価分析シート

主要事業	市史編さん事業の推進		担当課等	生涯学習課					
事業名称	5 芸術文化の振興								
項目名称	(3) 郷土への誇りと愛着を深める地域文化の継承-①								
① 事務事業概要	実施根拠法令								
	実施方法		☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 補助金交付 ☐ その他 ()						
	事業費内訳		☐ 国庫補助 ☐ 県単 ☒ 一般財源 ☐ その他 ()						
	対象(～に対して)		市民						
	目的(目指すべき姿)		二戸市固有の地域文化についての調査・保護・保存・活用を通して、市民の郷土への誇り、郷土愛を育む。また、市史の発行を通して、本市の成り立ちや歴史、先人などの足跡を知り、それぞれの家庭で語り合えるよう、史料叢書の完成を目指す。						
	事業内容 (平成27年度)		史料叢書別冊第五巻の発行						
② 事業実績・効果	区 分		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	事業の実績	1	史料叢書発行	集	第13集「二戸郡福岡村用係文書」	第14集「東北の松下村塾会輔社(上)」	第15集「東北の松下村塾会輔社(中)」	第16集「東北の松下村塾会輔社(下)」	
		2	史料叢書別冊発行	巻			続二戸歴史物語(増刷)		第五巻「別篇二戸歴史物語」
		3	資料復刻集発行	巻	郷土教育資料復刻集・福岡編II～V	郷土教育資料復刻集・浄法寺編I	郷土教育資料復刻集・浄法寺編II		
	事業効果	1	印刷物売捌料	千円	276	282	266	84	60
③ 事業費	区 分		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	決 算 額		千円	4,776	4,284	5,345	4,199	3,829	
④ 事業評価	総括(成果と課題)	1. 市史編さん嘱託員2人のほか、資料調査員1人で、収集した史料をまとめている。 2. 平成27年度は、二戸史料叢書別冊第五巻「別篇二戸歴史物語」を発刊。400冊、2,000円。 3. 市史編さん嘱託員は高齢であり、後継者の問題がある。 (※1名が平成27年度末で退職。)							

二戸市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況
点検・評価分析シート

主要事業	歴史民俗資料の収集と研究の推進		担当課等	文化財課					
事業名称	5 芸術文化の振興								
項目名称	(3) 郷土への誇りと愛着を深める地域文化の継承-②								
① 事務事業概要	実施根拠法令	二戸市立歴史民俗資料館条例 二戸市立歴史民俗資料館管理規則							
	実施方法	■直接実施 ■業務委託 □補助金交付 □その他()							
	事業費内訳	□国庫補助 □県単 ■一般財源 ■その他(使用料等)							
	対象(～に対して)	市民							
	目的(目指すべき姿)	<ul style="list-style-type: none"> ・学術文化の発展に寄与するため、歴史民俗資料館を設置する。 ・二戸市立歴史民俗資料館運営委員会を開催し、「資料の収集、保管、展示等に関すること」「資料の調査研究、利用等に関すること」「その他資料館の運営に関すること」に関し調査審議し、資料館の円滑な管理運営を図る。 							
事業内容 (平成27年度)	歴史民俗資料の収集と研究の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・調査研究、各種照会への対応 ・各種講座の開催 ・二戸市立歴史民俗資料館運営委員会の開催(5月、11月) 								
② 事業実績・効果	区分		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	事業の実績	1	入館者数(二戸)	人	1,146	1,000	826	1,041	1,132
		2	入館者数 (浄法寺)	人	603	764	669	639	699
		3	講座等(二戸)	回	18	19	20	18	22
		4	講座等(浄法寺)	回	5	5	4	-	1
	事業効果	1	講座等参加者 (二戸)	人	804	943	685	862	606
2		〃(浄法寺)	人	583	211	422	-	20	
③ 事業費	区分		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	決算額		千円	7,814	5,617	6,090	6,312	7,735	
④ 事業評価	総括 (成果と課題)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 二戸・浄法寺両資料館は、それぞれの地域の特色を生かした展示をしている。また、過去の民俗資料等の受け皿としての機能を果たしており、各種照会についての対応も行っている。各種照会については二戸資料館が58件、浄法寺資料館が64件である。また文化祭期間中に、二戸資料館では、特別展「相馬大作に関わる秘伝書類」を開催し約109人が来館、浄法寺資料館では、「天台寺の扁額」の特別展を開催し200名が来館した。なお、講座等については、二戸資料館では「新・にのへ物語区」を8回開催し、参加者は延べ188人、浄法寺資料館では、「中世の天台寺領を訪ねて」を実施し、40名の参加を頂いた。 2. 市内外の小学校の学習の場としても利用されている。(二戸資料館7校、浄法寺資料館2校) 3. 地域の文化・歴史・民俗などを知るうえで、展示している資料は貴重な宝であり、後世に永く伝えることが求められている。また、調査研究を進め、新たな民俗風習等を解明する必要がある。 4. 両資料館とも施設の老朽化が進んできている。また、収蔵物が飽和状態にあり、施設の運営に支障をきたしてきていることから、両資料館の整備の検討が求められている。 							

二戸市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況
点検・評価分析シート

主要事業	スポーツ指導者の育成・健康づくりの支援等		担当課等	生涯学習課					
事業名称	6 スポーツ・レクリエーションの振興								
項目名称	(1)みんなが楽しむスポーツの振興－①								
①事務事業概要	実施根拠法令	スポーツ基本法、二戸市立学校施設の開放に関する規則							
	実施方法	■直接実施 □業務委託 □補助金交付 □その他 ()							
	事業費内訳	□国庫補助 □県単 ■一般財源 □その他 ()							
	対象(～に対して)	市民							
	目的(目指すべき姿)	<ul style="list-style-type: none"> ・総合型地域スポーツクラブの設置により、市民が身近な地域でスポーツに親しめる環境整備に努める。 ・スポーツ指導者の育成を図り、スポーツ・レクリエーション活動の普及に努める。 ・学校体育施設を地域の生涯スポーツ活動施設として開放し、市民の体力向上に努める。 							
事業内容 (平成27年度)	<ol style="list-style-type: none"> 1 総合型スポーツクラブの創設援助 2 スポーツ指導者の育成支援 3 教育委員会が指定した学校の体育施設の開放 4 スポーツ・レクリエーション活動の普及 								
②事業実績・効果	区 分		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	事業の実績	1	総合型スポーツクラブ数	団体	2	2	2	2	2
		2	スポーツ少年団指導者数	人	163	163	150	145	161
		3	学校開放事業利用登録団体	団体	15	11	14	13	19
		4	利用日数	日	306	211	278	349	422
	事業効果	1	指導者研修受講者数	人	7	12	14	16	18
2		学校開放事業利用人数	人	3,474	2,232	3,610	4,401	5,524	
③事業費	区 分		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	決 算 額		千円	132	125	119	104	122	
④事業評価	総括 (成果と課題)	【総合型スポーツクラブの創設援助】 <ol style="list-style-type: none"> 1. 当市には、カシオペア氷上スポーツクラブと浄法寺スポーツクラブがあり、会員と地域住民により自主運営されており、市民へ運動の機会を提供している。 2. 各種スポーツ教室の実施により、市民が運動に取り組むきっかけづくりとなっている。 3. 今後のクラブ創設にあたり、地域をまとめリーダーシップが取れる人材の育成が必要である。 							
		【スポーツ指導者の育成支援】 <ol style="list-style-type: none"> 1. 年2回開催される研修会等には、各種スポーツの指導に携わる人達を派遣し、指導者研修並びに資格取得を図り、指導体制の充実を図った。 2. 子どもたちのスポーツ活動の情報交換と指導方法についての意見交換の機会となった。 3. スポーツ少年団の登録に、有資格の指導者が2人以上必要という要件が加わったため、スポーツ少年団指導者数は増加した。 4. 平成25年9月策定の「二戸市小・中学生スポーツ活動指針」に基づき、児童・生徒の身体的な負担を考慮した活動(休養日及び活動時刻の設定)を行うよう、指導者や保護者に対し、さらなる周知を図る必要がある。 							
		【教育委員会が指定した学校の体育施設の開放】 <ol style="list-style-type: none"> 1. 学校の体育施設を開放することにより、定期活動したい団体への貸し出しが可能となり、スポーツ活動に取り組みやすい環境づくりが図られた。 2. スポーツセンターの工事期間中、代替の活動場所として利用されたこともあり、登録団体数、利用人数ともに増加した。 							
		【スポーツ・レクリエーション活動の普及】 <ol style="list-style-type: none"> 1. 市民総参加スポーツ大会などを実施し、スポーツに親しむ機会の提供を図った。 (総参加スポーツ大会 5競技 239人 浄法寺地区体育祭 3地区 280人) 2. 市民の要望に沿ったスポーツ教室の実施に努めた。 (水中運動教室 全12回 135人 初級パークゴルフ教室 1回 8人) 							

二戸市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況
点検・評価分析シート

主要事業	スポーツ施設の整備・充実		担当課等	生涯学習課					
事業名称	6 スポーツ・レクリエーションの振興								
項目名称	(1)みんなが楽しむスポーツの振興-②								
①事務事業概要	実施根拠法令								
	実施方法		☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 補助金交付 ☐ その他（ ）						
	事業費内訳		☐ 国庫補助 ☐ 県単 ☒ 一般財源 ☒ その他（合併特例債、スポーツ振興くじ助成金）						
	対象（～に対して）		市民						
	目的（目指すべき姿）		既存の施設の整備を進めるとともに、市民が気軽にスポーツ・レクリエーション活動ができる施設の整備や充実に努める。						
	事業内容（平成27年度）		体育施設の整備、修繕、改修						
②事業実績・効果	区 分		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	事業の実績	1	修繕	件	40	3	3	3	4
		2	改修工事	件	2	4	6	6	
		3	大規模改修	件	2	1	4	3	1
③事業費	区 分		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	決 算 額		千円	19,497	113,574	42,089	184,452	99,795	
④事業評価	総括（成果と課題）	<p>1. 指定管理者が行う修繕工事では手続きが簡素化されたことにより、従前より修繕期間が早まった。</p> <p>2. 合併特例債やスポーツ振興くじ（toto）助成金の活用により、財政面において効率的な施設整備が図られた。</p> <p>3. 修繕や改修は計画的に実施しているが、老朽化による解体撤去も含めて検討していく必要がある。</p> <p>4. 改修工事費のかさむ施設改修については急な対応が難しいため、優先順位を考慮しながら進めている。</p> <p>5. 駐車場が狭い施設で大会等を開催する場合、周辺施設の駐車場の活用や、バス輸送等を考慮する必要がある。</p> <p><平成27年度に実施した修繕（単位：千円）> 大平球場高圧受電設備修繕（715）、浄法寺体育館高圧受電設備修繕（460）、 二戸体育館照明器具修繕（897）、二戸市弓道場修繕（1,758）</p> <p><平成27年度に実施した工事請負費（単位：千円）> 総合スポーツセンター改修工事（95,965） （合併特例債 72,100、スポーツ振興くじ 20,000、一般財源 3,865）</p>							

二戸市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況
点検・評価分析シート

主要事業	各種スポーツ大会・教室の開催		担当課等	生涯学習課					
事業名称	6 スポーツ・レクリエーションの振興								
項目名称	(2) 夢と感動の競技スポーツの推進①								
① 事務事業概要	実施根拠法令	補助金交付要綱							
	実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☒ 補助金交付 ☐ その他()							
	事業費内訳	☐ 国庫補助 ☐ 県単 ☐ 一般財源 ☒ その他(地域づくり人づくり基金)							
	対象(～に対して)	市民							
	目的(目指すべき姿)	県大会以上のスポーツ大会を招致・開催することにより、競技スポーツ技術の習得とスポーツに対する市民の意識の高揚を図る。							
	事業内容 (平成27年度)	各種スポーツ大会等の開催補助							
② 事業実績・効果	区 分			単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	事業の実績	1	岩手総体記念 剣道練成大会	回	1	1	1	1	
		2	東北総合体育大会剣道 競技	回					1
		3	日本車いすカーリング 選手権大会	回	1	1			
		4	Bjリーグ公式戦	回	1	1	2	2	
		5	県学童新人野球大会	回	1	1	1	1	1
		6	全国高等学校総合体育 大会アイスホッケー競 技	回					1
事業効果	1								
③ 事業費	区 分			単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	決 算 額			千円	810	1,090	990	990	1,350
④ 事業評価	総括 (成果と課題)	<p>1. 県大会レベル以上の各種スポーツ大会が開催され、競技力向上に対する選手の意識の高揚が図られたとともに、競技に対する市民の関心を高めることができた。</p> <p>2. 選手の育成・強化のため、継続的に事業を実施し、技術の習得と競技力の向上につなげていく必要がある。</p> <p>3. 大会がスムーズに運営できるよう、大会を支える人材を育成する必要がある。</p> <p><県大会以上の開催実績> 東北総合体育大会剣道競技 120人 岩手県学童新人野球大会 314人 全国高等学校総合体育大会アイスホッケー競技 169人</p>							

二戸市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況
点検・評価分析シート

主要事業	各種スポーツ大会・教室の開催		担当課等	生涯学習課				
事業名称	6 スポーツ・レクリエーションの振興							
項目名称	(2) 夢と感動の競技スポーツの推進②							
① 事務事業概要	実施根拠法令							
	実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 補助金交付 ☐ その他()						
	事業費内訳	☐ 国庫補助 ☐ 県単 ☒ 一般財源 ☒ その他(地域活性化交付金)						
	対象(～に対して)	市民						
	目的(目指すべき姿)	一般社団法人二戸市体育協会に委託し、トップアスリートを講師としたスポーツ教室等を開催することにより、小中高校生の競技力向上と意識の高揚を図る。						
	事業内容 (平成27年度)	1 スポーツ教室の開催 2 指導者講習会の開催						
② 事業実績・効果	区 分		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	事業の実績	1	実施回数	回				11
		2	参加者数	人				726
事業効果								
③ 事業費	区 分		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	決 算 額		千円					6,000
④ 事業評価	総括 (成果と課題)	1. 一流の選手や指導者から指導を受けることにより、高い水準の技術を学ぶとともに、選手の意識の高揚を図ることができた。						
		2. ハイレベルのプレーを観戦することにより、スポーツに対する夢を膨らませることができた。						
		3. 一流選手から受けた指導がその場限りとならないよう、今後も継続して選手の育成と強化に取り組む必要がある。						
		<開催実績>						
		バレーボール教室 2回 139人						
		野球教室 1回 40人						
		バスケットボール教室 2回 112人						
		陸上競技：走り方教室 1回 160人						
		スキー教室 2回 65人						
		水泳教室 1回 50人						
		指導者講習会 2回 160人						